

令和7年度子どものまちづくりイベント  
**Mini Mini Midori～『GREEN×EXPO 2027』に向けて～**

# 実施報告書



横浜市緑区区政推進課

I.事業概要	
事業全体概要	3
II.実行委員募集	
募集概要	4
III.実施実績	
準備期間	5
イベント当日	6
IV.子ども実行委員会記録	
第1回	7
第2回（企業見学会）	8～9
第3回	10～11
第4回	12
第5回	12
イベント当日	13
V.イベント当日	
スケジュール	14～15
基本事項	16
各種概要	17～25
企業ブース	26～27
全体写真	28～34
VI.製作物	
当日配布パンフレット	35
各種印刷物・サイン	36～38
VII.アンケート	
大人アンケート結果	39～42
子どもアンケート結果	43～44
VIII.緊急時対応	
緊急時連絡先・指示系統	45
避難誘導に関する基本要領	46
避難経路	47

□事業名称	令和7年度 子どものまちづくりイベント 「Mini Mini Midori～『GREEN×EXPO 2027』に向けて～」
□事業目的	子ども実行委員を中心に、「子どものまち」を考え、そのまちをイベント開催日に出現させる。 「まち」を構想する実行委員とイベントに参加する子どもたちそれぞれが、イベントを通してまちづくりや経済の仕組みを学ぶことができる。 今年度はGREEN×EXPO 2027の開催まで2年を切り、開催への期待感・高揚感を醸成するため、本イベントにGREEN×EXPO 2027の開催趣旨を取り入れて実施することで、自然の大切さを改めて認識し、人と自然が共生した持続可能なまちづくりへの関心を持っていただくことを目的とする。
□内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 子ども実行委員のGREEN×EXPO 2027出展予定企業見学</li><li>● 子ども実行委員会の実施 →緑区が募集した実行委員(20人程度)の会議実施</li><li>● イベントの実施(子どものまち) →子ども実行委員がリーダーを務めるお店でイベント参加者(子ども/事前申込制)が働いたり、商品の購入やサービスの提供を受け、それに加えてGREEN×EXPO 2027の開催趣旨を体感していただく。</li></ul>
□主 催	横浜市緑区役所区政推進課
□運 営	株式会社セレスポ横浜支店
□運営協力	東洋英和女学院大学
□協力・協賛	株式会社村田製作所 株式会社ミスティックフラワー 桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室 株式会社Creative Green フラワーショップ花市場（十日市場） ジェーピース製薬株式会社
□後援	GREEN×EXPO協会（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会）

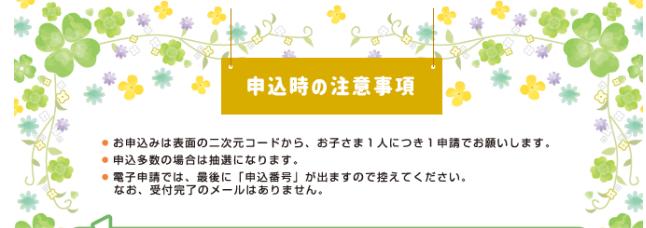
## Ⅱ. 実行委員募集

### □子ども実行委員の募集と委員会の概要

項目	内 容
実行委員参加資格	小学3年生以上中学3年生まで
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集告知：緑区内小中学校への告知、区民利用施設へのちらし配架</li> <li>募集時期：令和7年6月9日～7月6日</li> <li>申込方法：区が指定する電子申請による申込</li> </ul>
募集人数	20人程度
活動期間・内容	<p>活動期間：令和7年7月～9月</p> <p>活動内容：子ども実行委員会への参加・イベント当日はお店の運営 →まちの構想、GREEN×EXPO 2027出展予定企業見学、 GREEN×EXPO 2027の開催趣旨を学ぶ、イベント当日はお店の リーダーとして活躍</p>
子ども実行委員会	<p>開催日：令和7年7月～9月 5回開催</p> <p>場所：緑区役所会議室 他</p> <p>参加費：無料 ※交通費が発生する場合は実行委員の自己負担</p> <p>開催方法：対面</p>

### ●応募 54名

実行委員決定 21名  
最終参加者 21名



#### 1 子どものまちづくりイベントについて

「子どものまちづくりイベント」とは、ドイツのミュンヘンで行われている「ミニ・ミュンヘン」の緑区版としてスタートした「子どもによる、子どものための、子どもだけのまち」です。

「子どものまち」は、子ども主体のまちで、区役所、学校、銀行などのほか、様々なお店が出現し、独自通貨で買い物をすることができます。また、ショッピングセンターで仕事を見つけて働き給料をもらう、まちで買い物やサービスを楽しむことができ、経済の循環を体験することができます。

#### 2 全体について

大人スタッフは運行管理や相談、サポートを行いますが、基本的に子どもたちが自分で考え、商談し、解決する方が大切と考えますので、保護者の皆さまには遠慮なく見守っていただければと思います。

活動の様子は、市及び区ウェブページや広報誌等で紹介します。子ども実行委員の申込時には、お子様の写真、動画（YouTubeを含む）、お子さまが作成した制作物や記録ノート、お名前やあだ名について使用許諾に同意するご用意をいたすことが前提となります。また、子ども実行委員決定後に、写真等掲載承諾書を提出いただきます。

子ども実行委員の決定のご連絡など、以後のご連絡は全てメールとなります。電子申請の登録メールアドレスは、ご連絡のつく保護者の方のメールアドレスをお願いします。

#### 「Mini Mini Midori ~GREEN×EXPO 2027~に向けて~」が目指すもの

緑区の子どものまちづくりイベントは、次世代を担う青少年の育成として令和元年度の区制50周年事業としてスタートし、これまで多くの子どもたちがまちづくりを体験してきました。

令和7年度はこれまでの取組をいかし、「Mini Mini Midori ~GREEN×EXPO 2027~」に向けて～として、子どもたちとともに持続可能なまちづくりに挑戦します。

子どもたちや地域の方々に「GREEN×EXPO 2027」への期待感・高揚感を抱いていただき、

その先のグリーン社会の実現につなげていくイベントを目指します。



「YOKOHAMA GO GREEN」は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、市と市民・事業者の皆様が一丸となって、脱炭素・環境施策を推進するための合言葉です。



### Ⅲ. 実施実績

#### □準備期間

##### ●運営ミーティング

- ①4/23（水） 初回打合せ 及び 東洋英和女学院大学打合せ
- ②5/28（水） 東洋英和女学院大学 オリエンテーション（オンライン）

##### ●子ども実行委員会

回	日時	場所	内容
第1回	7月29日(火) 13:00-16:00	緑区役所会議室	オリエンテーション、まちづくりについての学習、GREEN×EXPO 2027の開催趣旨・取組についての学習他
第2回	8月 8日(金) 09:45-16:30	桐蔭横浜大学 緑区役所会議室	①GREEN×EXPO 2027出展予定企業を見学・ワークショップ ②お店の内容を検討・決定
第3回	8月13日(水) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①第1回、2回の振り返り ②メンバーの検討・決定 ③お店ごとに実施内容検討
第4回	8月21日(木) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①お店に必要な物品の準備 ②発表の準備
第5回	8月28日(木) 14:00-17:00	緑公会堂会議室	①お店に必要な物品の準備 ②発表の準備
準備	9月 6日(土) 13:00-16:00	緑公会堂	イベント準備（子ども実行委員は任意）
本番	9月 7日(日) 8:00-17:00	緑公会堂	イベント本番

### Ⅲ. 実施実績

#### □9/7 (日) イベント当日

●実行委員 20名

●イベント参加者

午前の部 (9:30~12:30)

子ども (参加者) 126名

保護者等 116名

午後の部 (13:30~16:30)

子ども (参加者) 122名

保護者等 96名

●東洋英和女学院大学学生 7名

#### □実施構成

●主 催 : 横浜市緑区役所区政推進課

●運 営 : 株式会社セレスポ横浜支店

●運営協力 : 東洋英和女学院大学 (全体運営協力・ワークショップ、展示)

●協力・協賛 : 株式会社村田製作所 (ワークショップ、展示)

株式会社ミステイックフラワー (企業見学会、展示)

桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室 (企業見学会)

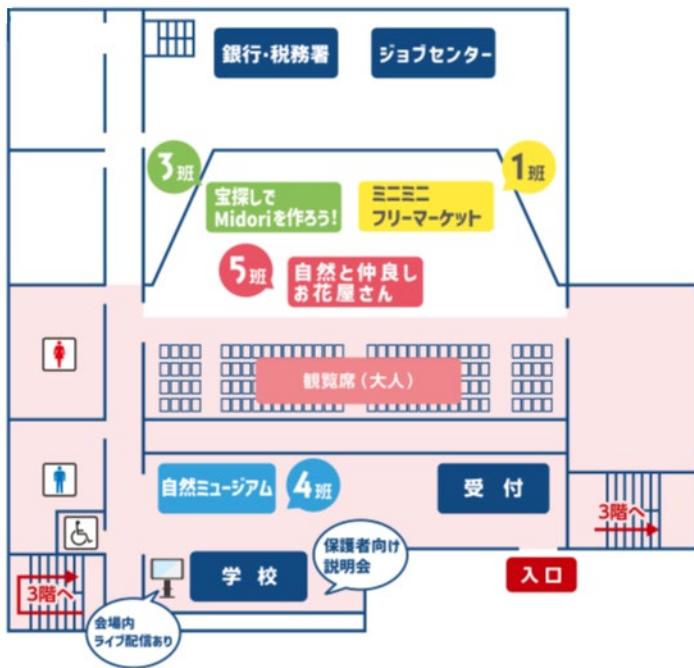
株式会社Creative Green (ロスフラワー<sup>®</sup>提供)

フラワーショップ花市場 (十日市場) (ロスフラワー<sup>®</sup>提供)

ジェーピース製薬株式会社 (ワークショップ、展示)

#### □会場配置図

##### ●2階



##### ●3階



※ピンクの網掛け部分のみ、大人通行可

# IV. 子ども実行委員会記録

【第1回子ども実行委員会 7月29日（火）13:00～16:00 @緑区役所会議室】

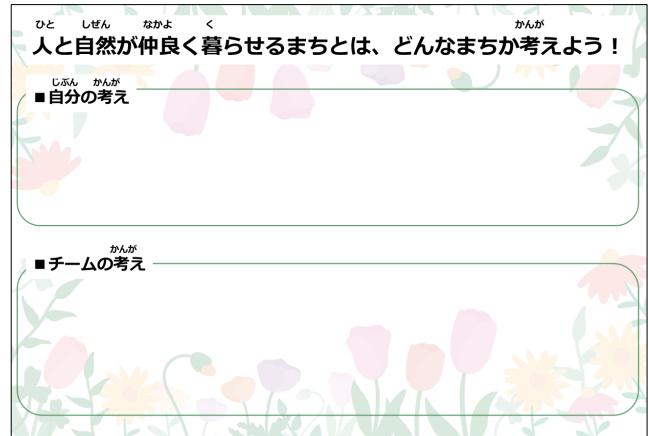
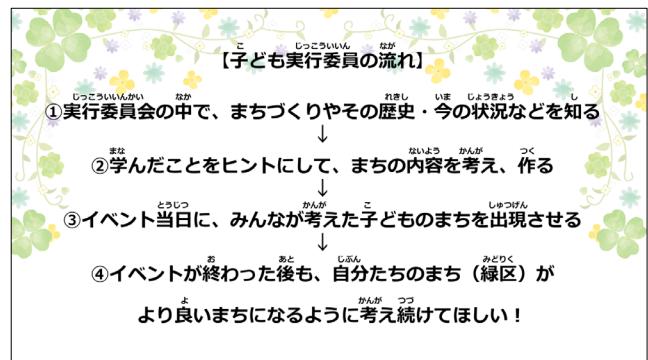
## ■参加者

- 子ども実行委員：19名
- 東洋英和女学院大学学生：3名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：4名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：10名

## ■内容

1. 開会あいさつ
2. スタッフ・東洋英和女学院大学自己紹介
3. 実行委員自己紹介
4. 導入レクチャー① 目指すゴールの共有
5. 導入レクチャー② まちづくりとは
6. グループワーク  
└実行委員が考える「人と自然が仲良く暮らせるまち」を発表
7. 宿題の説明（自然と関連したお仕事を考える）

## ■投影や資料配布



# IV. 子ども実行委員会記録

## 【第2回子ども実行委員会 8月8日（金）9:45~16:30 企業見学会】

### ■参加者

- 子ども実行委員：18名
- 株式会社ミスティックフラワー：1名
- 桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室教員：1名
- 桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室学生：2名
- 東洋英和女学院大学学生：7名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：4名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：9名

### ■内容

#### 1. 見学会（桐蔭横浜大学）

└ ミスティックフラワーについて

└ 超音波体験

└ ロスフラワー<sup>®</sup> を使用したミニブーケづくり体験

└ GREEN×EXPO 2027の会場整備エリアの横をマイクロバスで走行

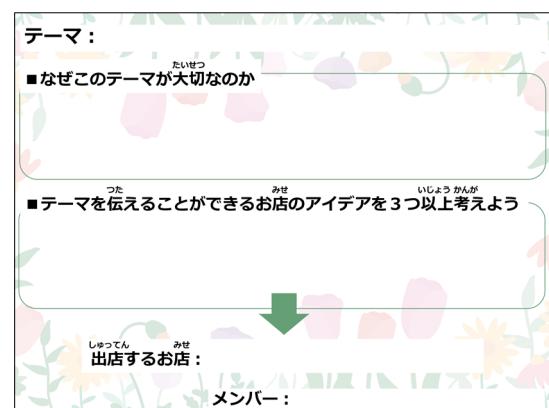
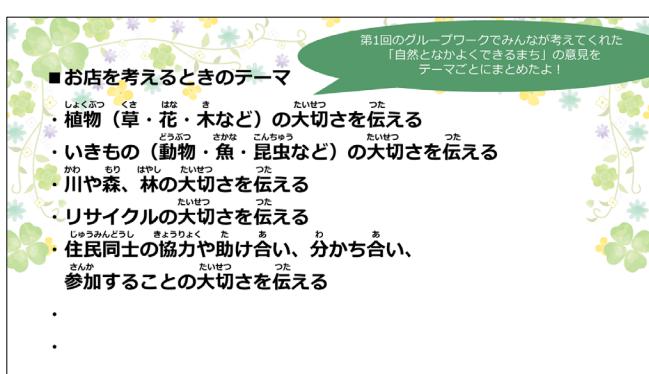
#### 2. 振り返り

└ 企業見学会の感想を言語化する

#### 3. グループワーク

└ 5つのテーマに沿って自然の大切さを伝えられるお店を考える

### ■投影や資料配布



## IV. 子ども実行委員会記録

### ■ 実行委員のブーケ製作の様子



### ■ バスから見たGREEN×EXPO 2027の会場整備エリアの様子



# IV. 子ども実行委員会記録

【第3回子ども実行委員会 8月13日（水）13:00～16:00 @緑区役所会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：16名
- 東洋英和女学院大学学生：10名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：3名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：8名

## ■内容

1. 第2回の振り返り
2. グループワーク

└前回欠席だった実行委員へ内容の共有 及び 発表シートを仕上げて発表

〈選定されたお店一覧〉

1班 フリーマーケット

2班 リサイクルショップ

3班 宝（まちの要素）を見つけて組み合わせ、自分のまちを作りだすゲーム

4班 自然に存在する生き物をアートとして展示する

5班 お花屋さん

3. まちの基本ルールを知る

└当日の開催時間や来場者の参加方法について

└税金とは

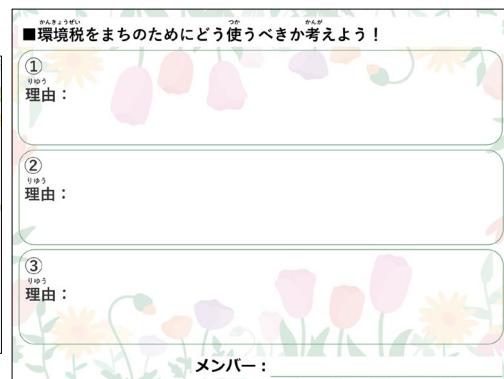
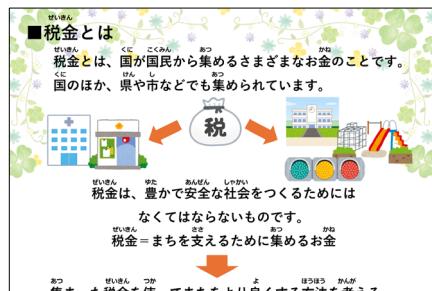
└グループワーク（環境税をまちのためにどう使うべきか考える）

4. 職業内容の検討

└まちの基本ルール、税金や物価の考え方を説明した後に、

サービスや商品の内容を検討

5. お店の配置を決定



# IV. 子ども実行委員会記録

## ■店舗ごとの「お店のテーマ」について

**1班 ミニミニフリーマーケット**

テーマ：住民同士の協力や助け合い、分かれ合い、参加の喜びの大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか  
1人ではできないことをたくさんの人と協力することでできると思うから。

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- ・フリマ
- ・古本屋
- ・リサイクルショップ
- ・お落たいけん
- ・ふつぶつうらぐん

出店するお店：フリマ（フリーマーケット）

**2班 なごみ雑貨店**

テーマ：リサイクル

■なぜこのテーマが大切なのか  
ゴミをリサイクルすればゴミをへらすことができるから。  
する前に本当にゴミか考えるべきになら。

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- ・うきげんかきかれたしょく品のカフェ
- ・つかわなくなったら物を新しいものにあげる。
- ・ゴミでしうる品を作れる。

出店するお店：リサイクルショップ

**3班 宝探しでMidoriを作ろう！**

テーマ：川や森、林の大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか  
魚や動物たちがすごいやくなる  
地球温暖化だから  
川から水をひいて農作をする

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- ・オセロ
- ・宝探し
- ・マイクロ

出店するお店：宝探しでMidoriを作ろう！

**4班 自然ミュージアム**

テーマ：生き物の大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか  
**自然にとって生き物は必要**  
がそんざいだから

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- ・虫探し
- ・魚つり（海の生き物）
- ・目でアート

・生きものアート（海・山・空⇒美術館）

出店するお店：美術館

**5班 自然と仲良しお花屋さん**

テーマ：植物（草・花・木）などの大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか  
**自然が無くなると人だけじゃなく他の生き物もいるから**  
RENEW EXPOといいえは「自然」だから植物が一番当てはまると思った。

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- ・お花屋さん（お花でブーケやブレスレットを作る）
- ・昔遊び屋さん（竹とぼなど植物で作った物を作る）
- ・植木屋さん（生け花などをする）

出店するお店：お花屋さん

# IV. 子ども実行委員会記録

【第4回子ども実行委員会 8月21日（木）13:00～16:00 @緑区役所会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：17名
- 東洋英和女学院大学学生：6名
- 東洋英和女学院大学教員：1名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：8名

## ■内容

1. 第3回の振り返り
2. アルバイトチラシの作成
3. お店ごとに必要なものの製作

### ■1班 各班に寄付のお願い



### ■2班 商品の製作



### ■3班 ゲームの備品の製作



### ■4班 展示物の製作



### ■5班 商品の製作



【第5回子ども実行委員会 8月28日（木）14:00～17:00 @緑公会堂会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：19名
- 東洋英和女学院大学学生：3名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：8名

## ■内容

1. お店ごとに必要なものの製作（前回の続き）

#### IV. 子ども実行委員会記録

## □ イベント当日の売上実績

班別売上実績（ミ\$）			
班名	午前	午後	合計
1班 ミニミニフリーマーケット	3,465	10,360	13,825
2班 なごみ雑貨店	1,710	2,085	3,795
3班 宝探しでMidoriを作ろう！	2,200	1,400	3,600
4班 自然ミュージアム	720	450	1,170
5班 自然と仲良しお花屋さん	3,525	2,135	5,660
村田製作所	760	840	1600
ジェーピーエス製薬	1380	3060	4440
東洋英和女学院大学	925	1175	2100

班別寄付額（ミ \$）			
班名	午前	午後	合計
1班 ミニミニフリーマーケット	315	2,900	3,215
2班 なごみ雑貨店	260	1,415	1,675
3班 宝探しでMidoriを作ろう！	745	2,390	3,135
4班 自然ミュージアム	1,185	1,425	2,610
5班 自然と仲良しお花屋さん	475	705	1,180
村田製作所	225	410	635
ジェーピーエス製薬	140	210	350
東洋英和女学院大学	150	215	365

## □壳上管理表

# V. イベント当日

	前日(9/6)	当日(9/7)			
		全体スケジュール	スタッフ		
7:00			施工・運営スタッフ	実行委員・ 東洋英和ボランティア	協力企業
7:30					
8:00		8:00区役所 集合 ミーティング・準備	8:00区役所 集合 ミーティング・準備	8:45区役所 集合・準備	8:00入り 各確認
8:30					
9:00	【会場設営・準備】 (9:00-17:00)	9:00開館・スタンバイ	9:00~12:30 子どものまち 運営サポート業務	9:00~12:30 子どものまち 運営	9:00~12:30 子どものまち 運営
9:30	第1部受付 9:15-9:45	第1部 開催 9:30-12:30		※休憩、昼食など 交代で取得	
10:00					
10:30					
11:00	映像 関係 設営				
11:30					
12:00					
12:30		第2部準備/13:00スタンバイ			
13:00					
13:30	実行 委員 ブース 設営	第2部受付 13:15-13:45	13:00~16:30 子どものまち 運営サポート業務	13:00~16:30 子どものまち 運営	13:00~16:30 子どものまち 運営
14:00					
14:30	協力 企業 ブース 設営	第2部 開催 13:30-16:30			
15:00					
15:30					
16:00					
16:30					
17:00		(16:00~) 撤収・かたづけ		(16:00~) かたづけ	(16:00 ~) かたづけ
17:30					
18:00					
18:30					
19:00					

# V. イベント当日

## □コンテンツごとのスケジュール

	全体スケジュール	受付	ライブ配信	大人説明会	税金アナウンス
9:00					
9:10					
9:20					
9:30		第1部受付 9:15-9:45			
9:40					
9:50					
10:00				●	
10:10				●	
10:20				●	
10:30				●	
10:40	第1部 開催 9:30-12:30		4班 発表 5分 中継 5分		
10:50				大人説明会①	
11:00				●	
11:10			1.3.5班 発表 各5分 中継 各5分		
11:20				大人説明会②	
11:30			2班 発表 5分 中継 5分		
11:40				●	
11:50				●	
12:00				大人説明会②	
12:10			2班 発表 5分 中継 5分		
12:20				●	
12:30					
12:40					
12:50					
13:00					
13:10					
13:20		第2部受付 13:15-13:45			
13:30			4班 発表 5分 中継 5分		
13:40				●	
13:50				●	
13:00				●	
14:10	第2部 開催 13:30-16:30		1.3.5班 発表 各5分 中継 各5分		
14:20				大人説明会①	
14:30				●	
14:40				●	
14:50				大人説明会①	
15:00			2班 発表 5分 中継 5分		
15:10				●	
15:20				●	
15:30			企業 発表 各5分 中継 各5分		
15:40				大人説明会②	
15:50				●	
16:00				大人説明会②	
16:10				●	
16:20					
16:30					

# V. イベント当日

## □イベント参加の流れ及び基本事項

参加者	行動
①受付	・公会堂 2 階ホワイエの受付で、区民証とミ\$、パンフを受け取る

申込確認方法	・イベントの参加は定員制、申込制の為申し込みの確認を行う 名簿の確認は区役所職員にて行う 配布物はセレスポにて行う
--------	-----------------------------------------------------------------

②学校でまちの仕組みを学ぶ	・公会堂 2 階ホワイエの学校で、「子どものまち」の仕組みを学ぶ
---------------	----------------------------------

レクチャー進行	・「子どものまち」に関する仕組みをレクチャーする セレスポスタッフにて説明
---------	------------------------------------------

③銀行・税務署へ行き、納税する	・ホール内の銀行・税務署へ行き、税金（環境税）を納税する ※納税をしなければ、まちで遊ぶことが出来ない
-----------------	--------------------------------------------------------

④ジョブセンターへ行き、仕事を探す	・ホール内のジョブセンターへ行き、仕事を探してそのお店のジョブストラップを受け取る ・もしくは残ったミ\$で遊ぶ
-------------------	-------------------------------------------------------------

⑤子どものまちのお店で働く	就業先のお店で、子ども実行委員の指示のもと働く ※1つの仕事は20分間程度
---------------	------------------------------------------

⑥銀行で給料をもらう	・ホール内の銀行へ行き、給料を受け取る ※ジョブストラップは銀行付近のBOXへ返す
------------	----------------------------------------------

⑦ミ\$を使って子どものまちで遊んだりショッピング	
---------------------------	--

・各お店は子ども実行委員が運営する ・勤務終了後は、実行委員が区民証の裏にあるジョブカードに給料を記入する
----------------------------------------------------------

・開催時間中は④～⑦を繰り返し行える
--------------------

・午前の営業終了後、各お店は法人税として、売り上げの10%を税務署へ納税する ※午後は納税の必要なし
-------------------------------------------------------

## □ お店の業務内容

## ■ 管理業務

- ・売上管理表への記入（下記参考①を参照）…所定の記載事項を記入。  
※午前の部終了時に法人税として売上の10%を「銀行・税務署」に納める。

## ■アルバイトの募集関係

- ・事前に作成したアルバイト求人チラシに基づいて募集を行う。  
(募集は「ジョブセンター」か2階ステージ上で行う)
  - ・イベント中の新規アルバイト募集は、「ジョブセンター」スタッフに相談して掲出すること。

※記入要件は次項にある「アルバイト募集概要」を確認し作成すること。

※企業ブース（3階）もアルバイトを募集すること。

## ■アルバイト受け入れ関係

- ・アルバイト希望者に仕事を説明する。※20分程度  
　アルバイト時間の管理は、各お店で行うこと。
  - ・アルバイトをする人にきちんと内容（アルバイトをお願いするところ）を伝え、  
　はじめは一緒にやること。
  - ・アルバイト募集の終了はイベント終了20分前まで。

## ■アルバイト終了時の業務

- ・ジョブカード（下記参考②参照）への所定事項の記入  
アルバイトの持っているジョブカード（区民証の裏）に以下のことを必ず記入すること。  
①アルバイトをしたお店の名前  
②アルバイト代の金額
  - ・ジョブストラップを銀行付近の返却BOXに入れることを促すこと。

### 参考① 売上管理表

## 参考② ジョブカード



## ■募集概要

- ・お店や協力企業、大学ブースでアルバイト募集を行うこと。
- ・所定のフォーマットではなく、自由にデザインした求人チラシを作成すること。  
作成に当たっては、以下の「求人チラシ作成概要」を参考にすること。
- ・求人チラシはイベント当日ジョブセンターに持っていくこと。
- ・終了した求人はジョブセンターへ速やかに伝えること。

## ■求人チラシ作成概要

### 【用紙仕様と記載方法】

- ・A4サイズ（縦）
- ・所定のフォーマットがないため、デザインなどは自由に作成すること。
- ・用紙の色も自由。分かりやすいようはっきり大きく記載すること。  
また、難しい漢字にはフリガナを振ること。
- ・イラストをデザインしてもよい。

### 【募集記載要件】

- ①お店の名前またはブース名
  - ②対象年齢（あれば）
  - ③アルバイト時間（20分程度）と内容および募集人数
  - ④アルバイト給料（20分で30ミ\$がまちのベース）
- ※可能であれば1回転で8名程度の受け入れを検討すること。

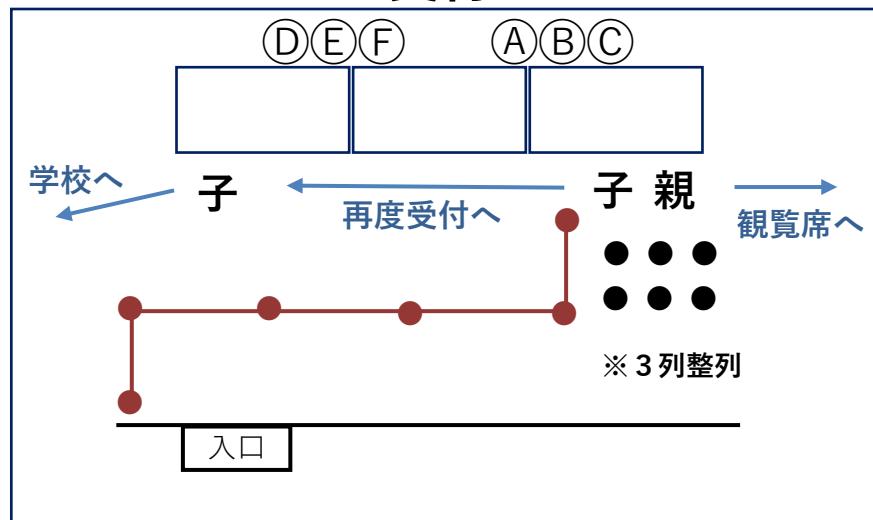
## ■その他のアルバイトルール

- ・アルバイトの時間は20分程度。
  - ・アルバイトの給料は20分で30ミ\$をベースとして考えること。  
また、5.10.15.20ミ\$で支払える数字とすること。
  - ・アルバイトでの危険な作業行為は禁止。
    - 熱のあるもの（臭気を伴うもの）
    - 刃を伴うもの
    - 尖ったもの
    - 長時間の立ち仕事や体力を消費させるもの
    - 20分間の単純作業や体温変化をきたすものなど
- ※求人内容によりアルバイト内容の変更を相談する場合あり。

## ■受付（1部 9:15～9:45、2部13:15～13:45）

## □配置

## 受付



ⒶⒷⒸ：区役所職員

ⒹⒺⒻ：セレスボ

●—●：ベルトパーテーション

## □手順

①事前申し込み名簿リストと照合

②大人の方にチラシ（A3,2つ折り）と配布物（不織布バッグ）、  
また入場希望の大人の方のみリストバンドを渡す

ⒶⒷⒸ

③参加人数のカウント

受付した人数をカウンターで数える。

④区民証と50ミ\$のお渡し

参加者（子ども）に対し、「区民証」と  
初期資金50ミ\$をお渡しする。  
※区民証の裏はジョブカードⒹⒺ  
Ⓕ

⑤チラシのお渡しと説明

参加者（子ども）に対し、チラシ（A3、2つ折り）をお渡しする。  
チラシの裏面を見せながら、  
学校が終わったら、銀行・税務署へ向かうことを伝える。

⑥受付後の移動先

参加者（子ども）→隣接する「学校」で待機  
保護者（大人）→観覧席へ移動（2階もしくは3階からも進入可能）

## □その他業務

- ・受付業務終了後、出入口付近にミ\$ 寄付ゾーンを設営
- ・第1部終了後、各店の寄付額を数えて、メモ 及び 午前のみ銀行スタッフに伝える

**■概要**

参加者（子ども）に対し、イベントの楽しみ方をフリップを使用し説明する。  
説明が一通り終わった後は、参加者の休憩所 及び 大人説明会の場所となる。

**■人員体制**

セレスポスタッフ…3名

**■業務内容**

- 「子どものまち」の説明
  - ・20名程度の参加者（子ども）が集まつたら、フリップを使用して、まちのルールを説明する。  
→フリップは2式あるので、2カ所に分かれて実施。  
※受付時間中は、「4班 自然ミュージアム」の場所を借りる。
  
- 大人説明会（イベントの楽しみ方-大人版-）
  - ・参加者の保護者に対して、「子どものまち」の説明 及び GREEN×EXPO 2027の開催背景や取り入れた趣旨等を説明する。
  - ・各回10分程度を予定（1時間に1回開催、適宜開催のアナウンスを入れる）。

**■概要**

税金の徴収とアルバイト代等の支払いを行う。

**■人員体制**

セレスポスタッフ…3名

**■業務内容****□税金の徴収**

・環境税：入場時に、1人5ミ\$ 徴収する。

徴収したら、区民証にスタンプをおす。

・法人税：午前終了時に、売り上げのでているお店から、売上額の10%を納めてもらう。

売上額と法人税額は紙に記載して管理する。

**□アルバイト代の支払い**

・区民証の裏のジョブカードに記載してあるアルバイト代を支払う。

また、アルバイト代を支払ったら、ジョブカードの「確認欄」に✓を書く。

**□アンケート回答者への支払い**

主催者が実施するアンケートに協力した子どもには、お礼に5ミ\$を渡す。

区民証の空いているスペースに (ア) のマークを書いた子どもが来た場合、5ミ\$を渡すとともに、その横に✓を書く。

**□ジョブストラップの案内**

アルバイト代の支払が終わった子どもに、ジョブストラップを銀行横のボックスに返すよう必ず伝える。

## ■概要

- ・アルバイトを希望している参加者に希望の「お店」の紹介と募集・求人管理。
- ・チラシの下にジョブストラップをぶら下げるとき、希望するお店のジョブストラップを取って、アルバイト先に向かってもらう（ジョブストラップが無ければ、バイト枠がないということになる）。
- ・アルバイト終了後「ジョブストラップ」は、銀行付近にある返却BOXに必ず返却してもらう。随時BOXを確認し、「ジョブストラップ」を回収する。

## ■人員体制

セレスポスタッフ…3名

## ■業務内容

### 【ジョブボード（アルバイト求人チラシ貼り出しの管理）】

- ・ホワイトボードへの募集チラシの貼付管理（募集チラシは各お店で作成済）。
- ・イレギュラーとして当日発生した募集のアルバイトについては、所定事項を記入してもらい、ジョブボードに掲出。

#### ＜記入所定事項＞

- ①店名
- ②アルバイト内容
- ③アルバイト時間
- ④アルバイト代
- ⑤アルバイト人数

・主催者が実施するアンケート調査員募集のアルバイト求人チラシは、第1部では10時から、第2部では14時から掲示する。

・学校の「説明会の呼び込み」アルバイト求人チラシは、10：30～12：00、14：20～16：00の間のみ掲示する。

### 【ジョブストラップ】

- ・アルバイトを行う参加者が持つて行っているか必ず確認し、アルバイト中は着用するよう伝える。

また、アルバイト終了後は必ず銀行付近の返却BOXへの返却を周知する。

### 【アルバイト求人チラシ（募集の終了）の収納】

- ・イベント終了20分前になったら、募集チラシを貼ったボードを裏返し、募集を終了する。

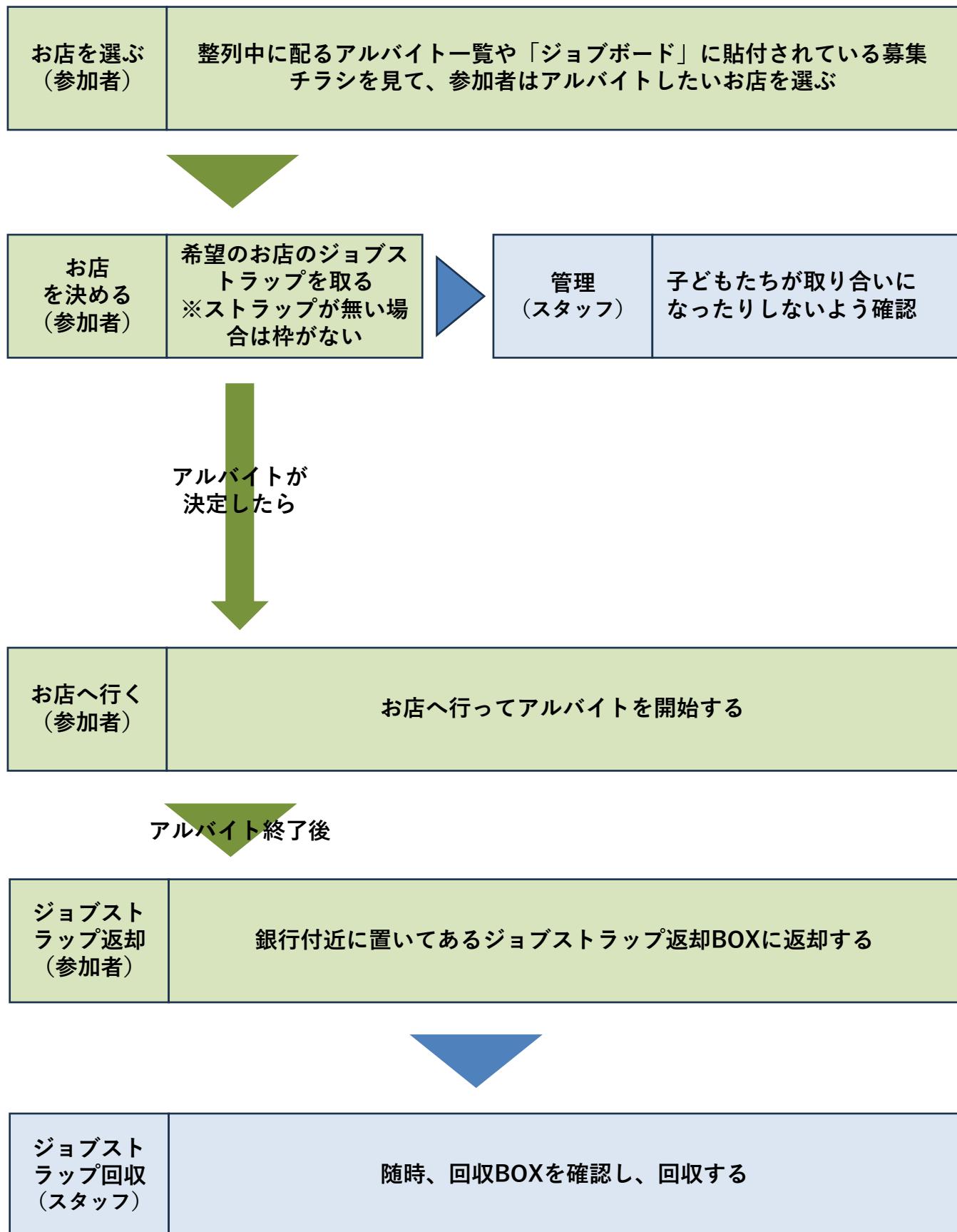


#### ジョブストラップ

★アルバイトが終了したら、銀行横のBOXに返してください



## ■参加フロー



## ■概要

- ・納税された環境税によって、「子どものまち」の環境が良くなっていくということを下記のグラフにて可視化 及び 公会堂内アナウンスで周知する。  
※実際にイベント内で変化するわけではなく、進化したと仮定する。

## ■人員体制

説明………学校  
グラフの管理………銀行・税務署  
アナウンス………子ども実行委員

## ■業務内容

### 【説明】

- ・学校の最初のルール説明中に、環境税によってまちの環境を良くしていく取組ができる、という旨を説明する。

### 【グラフの管理】

- ・タイムスケジュールに沿って、取組内容を貼っていく。

### 【アナウンス】

- ・タイムスケジュールに沿って、取組内容を発表する。

### ●午前

- 10 : 00 1班 ポスターを掲示する  
10 : 20 2班 まちにごみ箱を設置する  
10 : 40 3班 まちの清掃員を雇う  
11 : 10 4班 環境ボランティア団体を支援する  
12 : 00 5班 環境整備に必要な施設を建てる

### ●午後

- 13 : 40 5班 子どもがいる家庭に支援金を配る  
14 : 10 4班 リサイクル業者に補助金を出す  
14 : 50 3班 海のごみを回収する  
15 : 20 2班 木や花の手入れをする  
16 : 10 1班 のこり食材を使ったレシピをつくる



### ■概要

- ・「人と自然が仲良く暮らせるまちってどんなまち？」をテーマに、来場者が思い描く未来の幸せな風景を葉の形をした付箋に書いて、貼っていただくことで、木を完成させる。

### ■人員体制

3階の誘導スタッフが適宜対応

木 1800×1800



付箋 90×70



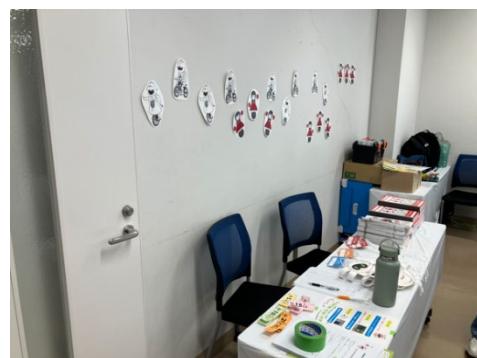
## ■東洋英和女学院大学「『森のかざぐるま』づくり」

- ・実施場所 公会堂 3階 会議室
- ・実施内容 竹を素材としたワークショップを実施



## ■村田製作所

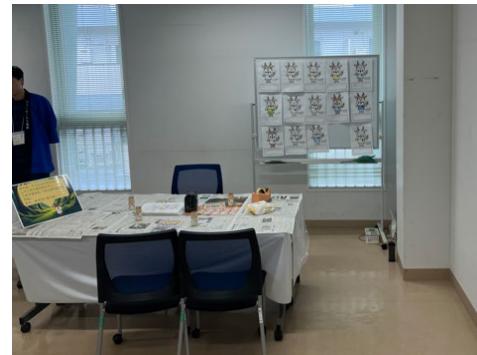
- ・実施場所 公会堂 3階 会議室
- ・実施内容 太陽光で動くオルゴールを製作できるワークショップ等を実施



## ■ ジェーピーエス製薬株式会社「ジェイくんとかんぽうのもり」

・実施場所 公会堂 3 階 会議室

・実施内容 木のみを触ったりにおいをかいだりするスタンプラリーを通して漢方について知ることができるワークショップを実施



## ■ 企業展示ブース



## ■入場・受付



## ■学校



## ■ジョブセンター



## ■銀行・税務署



## ■1班 ミニミニフリーマーケット



## ■2班 なごみ雑貨店



## ■3班 宝探しでMidoriを作ろう！



## ■4班 自然ミュージアム



## ■5班 自然と仲良しあ花屋さん



## ■GREEN×EXPO 2027 PRブース



## ■会場内風景



## ■実行委員取組展示コーナー



## ■実行委員取組内容の動画放映



## ■実行委員の取組内容の動画放映・中継（当日のまちの様子）



## ■みんなでつくる幸せの木



## ■会場内風景



## ■山中横浜市長視察



## ■ミ\$寄付（イベント参加者退出時）



## ■終了挨拶・集合写真



# V. イベント当日

# 全体写真

## ■開催後揭示（10月14日～17日 緑区役所1階イベントスペース）



## VI. 製作物

## □当日配布パンフレット

# VI. 製作物

## □ミニ\$



## □区民証・ジョブカード・ジョブストラップ°



# VI. 製作物

## □ サインデザイン

■ステージタイトル看板(紙出力) W4100xH620 ※20倍出力



■入口タイトル看板(紙出力) W900xH1800 ※10倍出力



■会場外誘導立看板 W900xH1800 ※10倍出力



■会場案内図立看板 W900xH1800 ※10倍出力



■受付(スチレン) W600xH600 ※10倍出力



■1800x1800 ※20倍出力



# VI. 製作物

## □ サインデザイン

■ 店舗看板(スチレン) W1200xH600 各1枚 計9枚 ※15倍出力



■ 誘導(スチレン) W450xH450 ※10倍出力



※矢印現地貼り

■ A3(紙出力) 企業ワークショップ  
※10倍出力



# VII.アンケート

## □大人アンケート結果

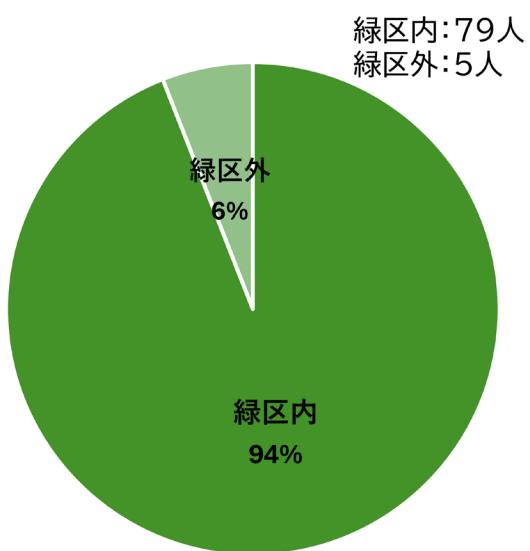
### ■回答者数

1回目:40人

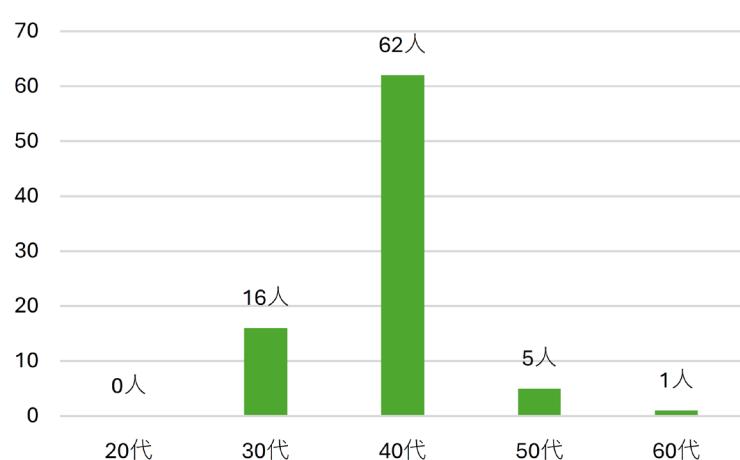
2回目:44人

合計:84人

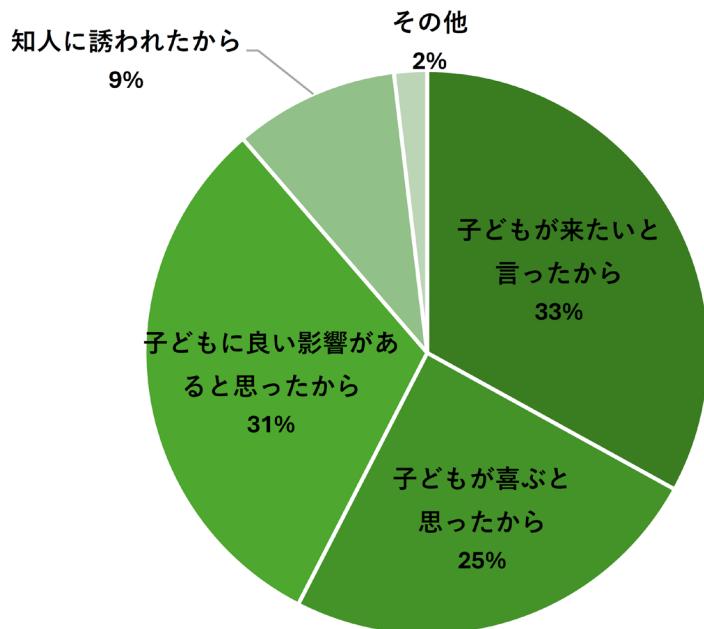
### 1 お住まいについて



### 2 年代について



### 3 子どもを参加させたいと思った理由を教えてください(複数回答可)



子どもが来たいと言ったから:35人

子どもが喜ぶと思ったから:26人

子どもに良い影響があると思ったから:33人

知人に誘われたから:10人

# VII.アンケート

## □大人アンケート結果

### 4 イベントの良かった点を教えてください(抜粋)

- ・一人でも楽しめること
- ・社会の仕組みを学ぶ事ができて良い経験になったと思う
- ・使わなくなった文具のお店があり、リユースの観点からとてもよいと思った
- ・子どもが楽しむだけでなく、誰かのために買おうという思いやりも育つ
- ・まちの運営が本格的でよかったです。
- ・子ども達が自ら動く、考えるきっかけ、自信になると思う
- ・大人が口出しできない状況のところを見ることができたところ
- ・親も入ることができる
- ・子どもが普段知る機会が少ない、税や働いてお金を稼ぐことを知れた点
- ・普段できない体験ができていいと思う
- ・親と離れて自分で考える力が身に付く点
- ・子ども達だけで考えて、社会の仕組みを理解できてよかったです

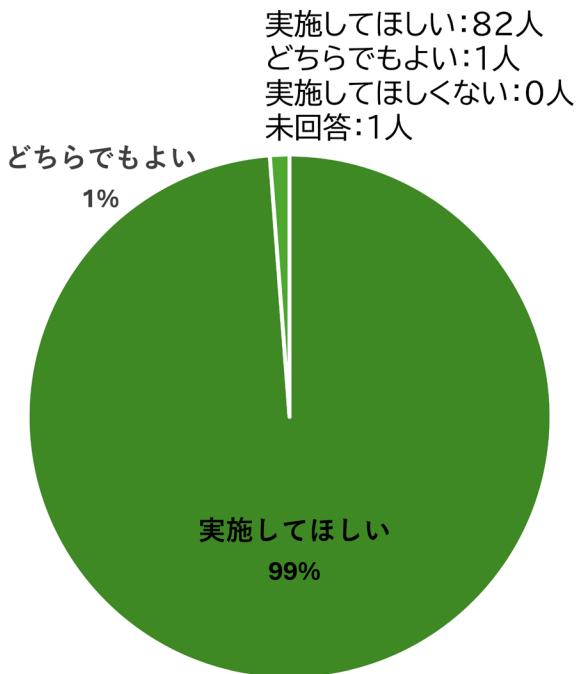
### 5 イベントの改善点があれば教えてください(抜粋)

- ・ジョブセンターの待ち時間が長く感じた。2か所にするとか、待ち時間を表示させるアルバイトもあっていいと思う。
- ・スタート時点でジョブセンターに行列ができてしまい、お店がガラガラだったので、その点の改善。
- ・ジョブセンターの混雑で並ぶ時間がもったいないかなと思った。人員を増やせたら良いかもです。
- ・大人が様子すらみれないブースがあるのは残念
- ・地図が子どもにはわかりにくいようだった
- ・何をすべきか迷っている子に声をかけるお仕事があればいいと思う
- ・様子を会場にプロジェクターでうつしてくれたらうれしい
- ・全体を1つの会場で見たい
- ・大人も見れる範囲が広がるとより知れて良い
- ・お仕事の時間が少し長いかも
- ・説明不足で初めての子どもが困っていた
- ・スタッフのフォローをもう少し多く
- ・体育館のような平らなスペースでやることが望ましい
- ・もっと広いところで
- ・売上や税収が見られるダッシュボードがあるとなおよい

## VII.アンケート

### □大人アンケート結果

6-1 来年も「Mini Mini Midori」を実施してほしいと思いますか

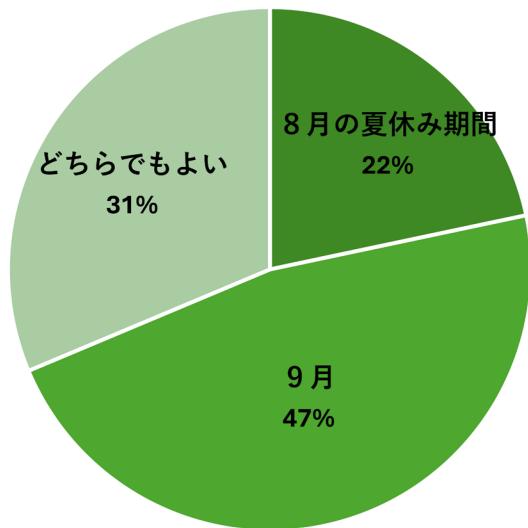


6-2 来年も「Mini Mini Midori」を実施してほしいと思いますか(理由・抜粋)

#### ●「実施してほしい」の理由

- ・楽しそうなイベントなので、子どもがいきいきとしていた
- ・子どもが毎年楽しみにしている
- ・子どもが自分で考え、動くことができているため
- ・仕事を選んで働き、その報酬で買い物をするシステムを楽しい活動の中で学べるのはとても良いと思うから
- ・まちのことを知る良いきっかけになるから
- ・見ず知らずの人と関わりを持てるから
- ・自分で考え、行動する経験や社会性を養えるから
- ・子どもにお金を稼ぐとはどういうことか教えてほしい
- ・子どもの成長につながる

7 イベントの実施時期について、8月の夏休み期間と9月に実施するのとではどちらが参加しやすいですか。

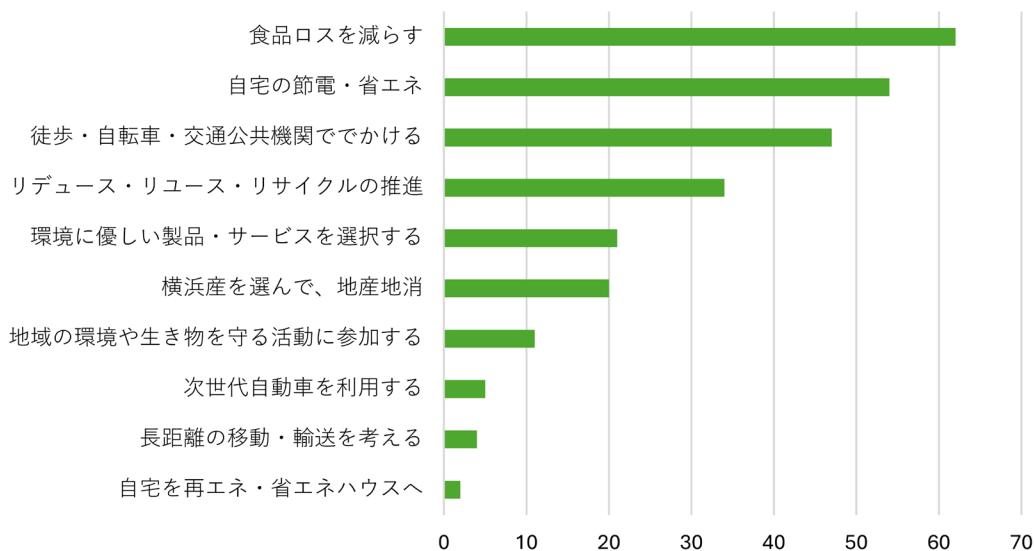


8月の夏休み期間:18人  
9月:39人  
どちらでもよい:26人  
無効回答:1人

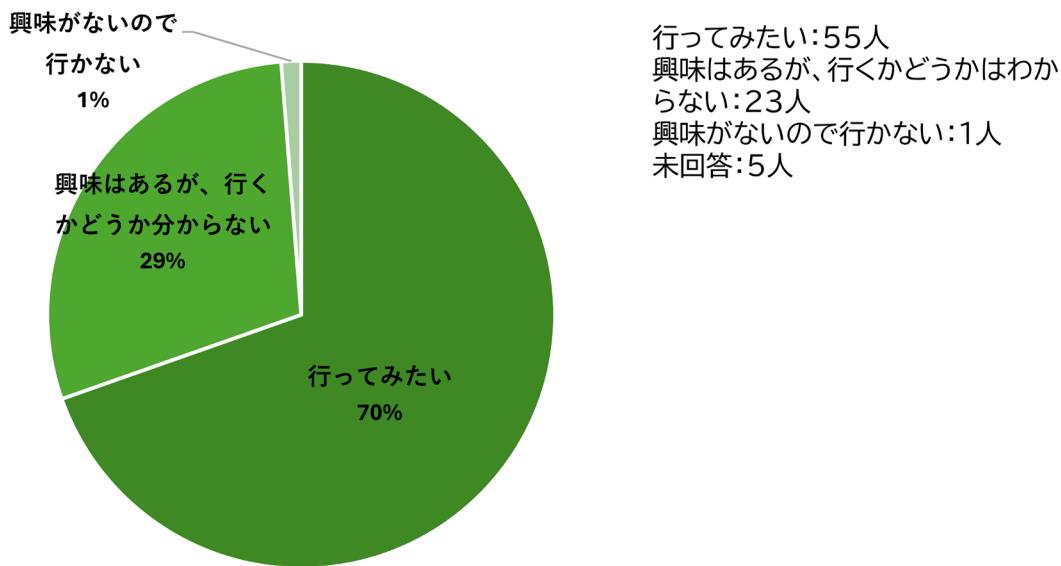
# VII.アンケート

## □大人アンケート結果

8 あなたが普段の生活の中で取り組んでいる環境にやさしい行動について、当てはまる番号に丸をつけてください(複数回答可)



9 本イベントを通して、「GREEN×EXPO 2027」に実際にに行ってみたいと思いましたか



# VII.アンケート

## □子どもアンケート結果

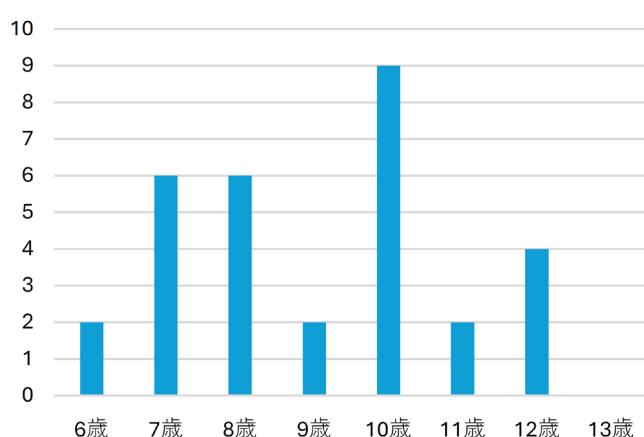
### ■回答者人数

1回目:7人

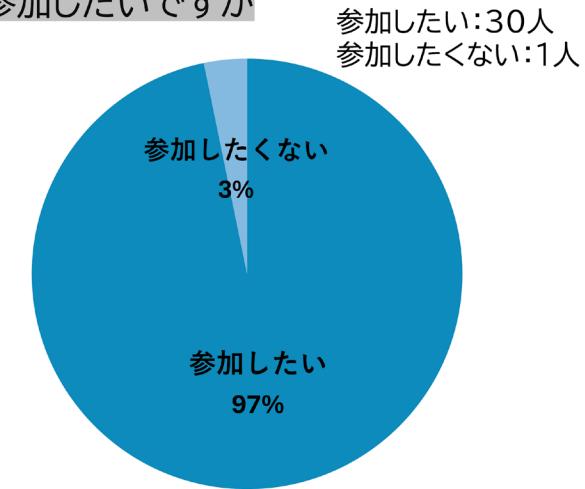
2回目:24人

合計:31人

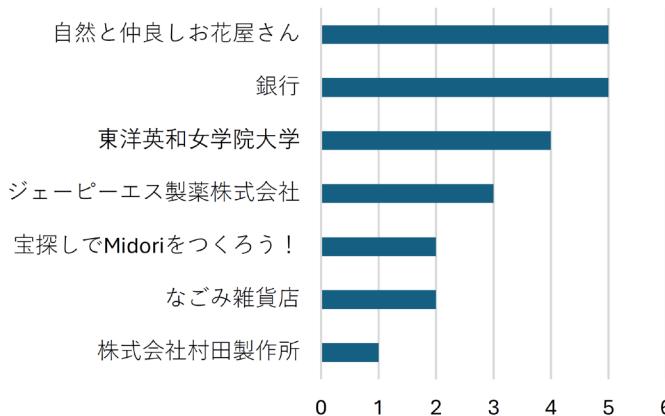
### 1 あなたは何歳ですか



### 2 来年もミニミニドリに 参加したいですか



### 3-1 面白かったお仕事を教えてください



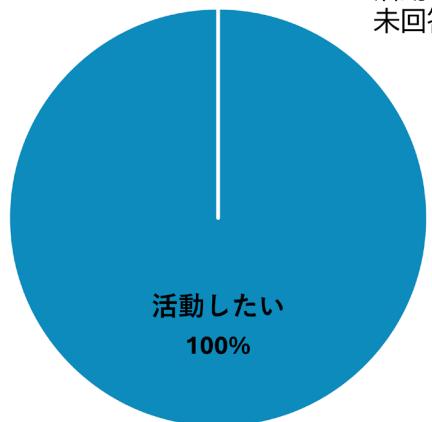
### 3-2 面白かったお仕事を教えてください (理由・抜粋)

- ・いろいろな人と関わられたから
- ・かわいい花があるから
- ・おもしろかったから
- ・宣伝するのがたのしかったから。
- ・お金を計算して渡すのがたのしかったから
- ・自分の好みのお花が作れるから
- ・みんなを呼び込むことができたから
- ・商品を作るのがたのしかった
- ・幸せな時間を過ごせたから
- ・みんなをよぶことができた

# VII.アンケート

## □子どもアンケート結果

4-1 将来みんなが住むまちをよくするための活動をしたいですか



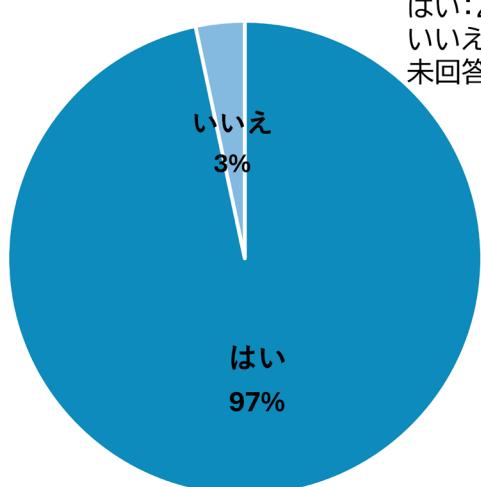
4-2 理由を教えてください(抜粋)

- ・将来のためにしたいと思ったから。
- ・まちがよくなれば自分も住みやすくなるから
- ・みんながしっかりリサイクルするようにしたいから
- ・まちがきれいになるから
- ・よりよくするとみんな笑顔
- ・みんなが住みやすいまちにしたいから
- ・住みやすくするとみんながきもちいい
- ・環境の勉強をしているから
- ・環境がよくなるから

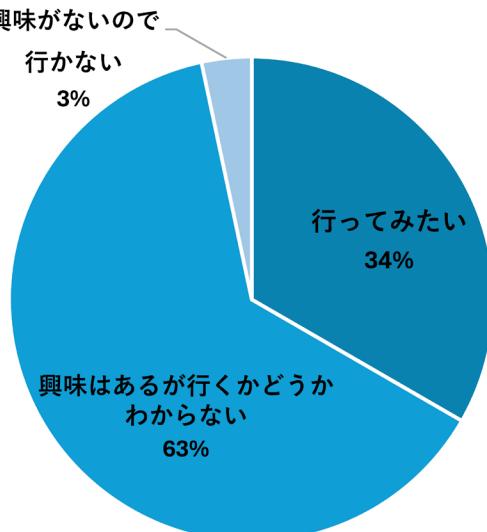
5 将来の夢やあこがれるお仕事があれば教えてください(抜粋)

- | 職業     | 職業      | 職業              | 職業     |
|--------|---------|-----------------|--------|
| ・獣医    | ・学校の先生  | ・画家             | ・お花屋さん |
| ・芸能界   | ・スポーツ選手 | ・パティシエ          | ・医者    |
| ・エンジニア | ・トリマー   | ・植物や生き物とかかわれる仕事 |        |

6 今日のイベントで感じたことや学んだことをおうちの人、近所の人、お友達に話したいと思いますか。

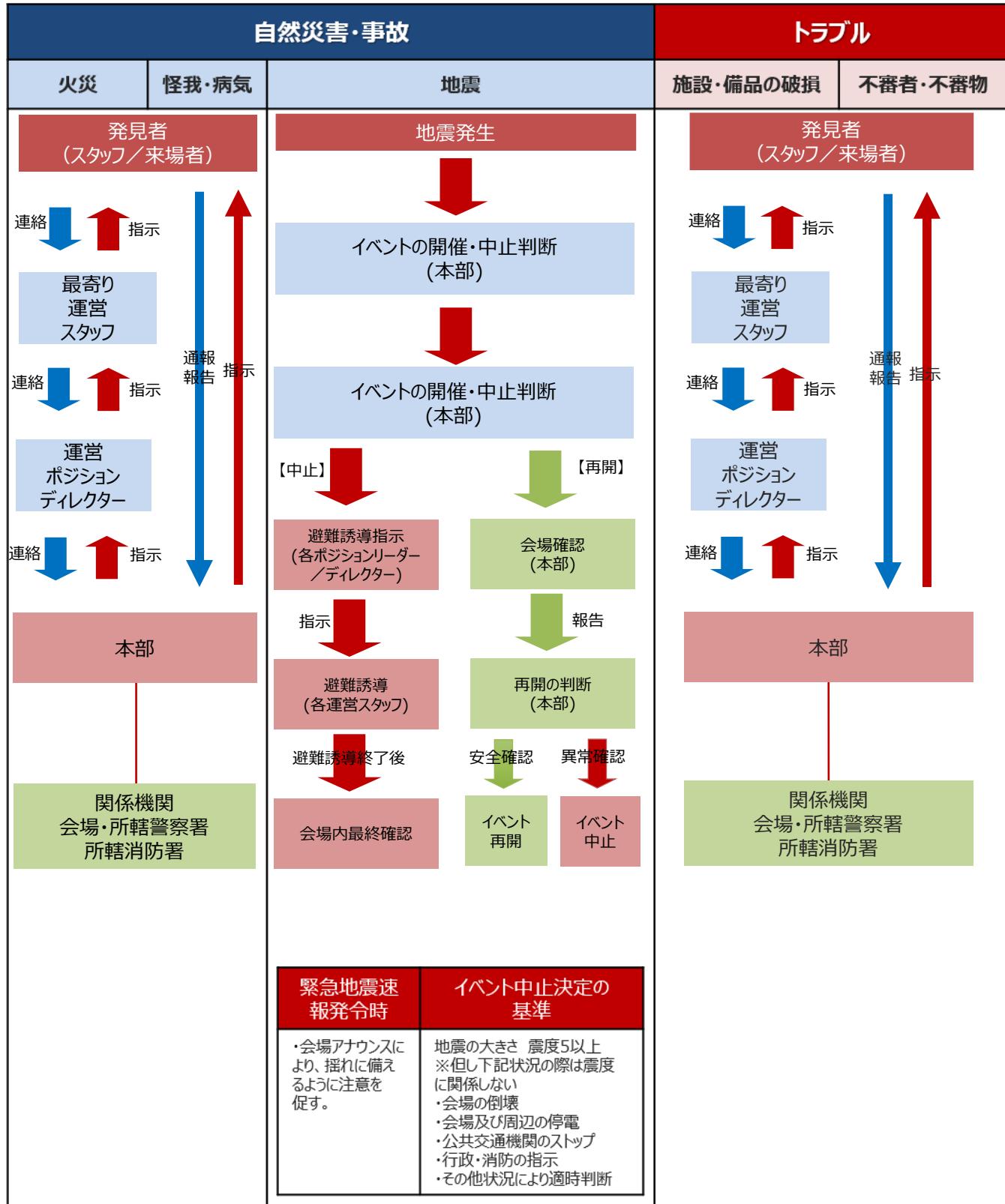


7 今日のイベントを通して、「GREEN×EXPO 2027」に実際に行ってみたいと思いましたか。



行ってみたい: 10人  
興味はあるが行くかどうか  
わからない: 19人  
興味がないので行かない: 1人  
未回答: 1人

## □緊急時連絡・指示系統



## □避難誘導に関する基本要領

### ● 避難誘導の実施

各スタッフは、担当するエリアにおける火災などの危機事案が発生した場合に自らのエリア外への避難誘導を実施する。

また、協力要請がある場合、または緊急事態で応援の必要がある場合には、担当エリア外において避難誘導を実施する。

### ● 避難誘導の種別

避難の種別は部分避難および全体避難とする。

#### ①部分避難

会場などの一部で危機事案が発生し避難誘導を必要とする場合には、運営本部の指示のもと避難所への誘導を行う。

原則として会場、諸室で危機事案が発生した場合、会場内の所定の位置に避難させた後、会場外へ避難誘導を行う。

#### ②全体避難

会場全体の避難を必要とする場合には、運営本部の指示により一時的に会場内の所定の場所に避難させた後、会場外へ避難誘導を行う。

### ● 避難誘導の方法

①危機事案が発生した場合、運営本部より避難場所、避難経路の指示を受ける。

②スタッフは拡声器などを積極的に活用し、避難すべき理由、避難場所、避難経路を広報する。

③スタッフを避難の際に雑踏が想定される階段などに配置し、群衆雪崩などの雑踏事故が発生しないよう警戒する。

④スタッフは運営本部からの指示を聞き行動するだけでなく、積極的に周囲の状況を運営本部に報告する。状況の変化があった場合逐次報告する。

⑤担当エリアの避難完了を確認の上運営本部へ報告を行い、まだ避難の済んでいないエリアの応援にあたる。

### ● 避難誘導実施時の留意事項

①避難誘導にあたっては人命の安全確保を第一として行動する。

②危機事案発生現場付近を最優先に避難誘導を行う。

③広報活動を行うスタッフも声に焦りや緊張感、声の裏返りなどがあると、来場者は危険が身近に迫っているかのように誤解し、予期せぬ行動をとる。そのため広報を行う際は—

ⅰ 冷静な音声と通常の速さで広報を行う。

ⅱ 現在の状況を明確に伝える。

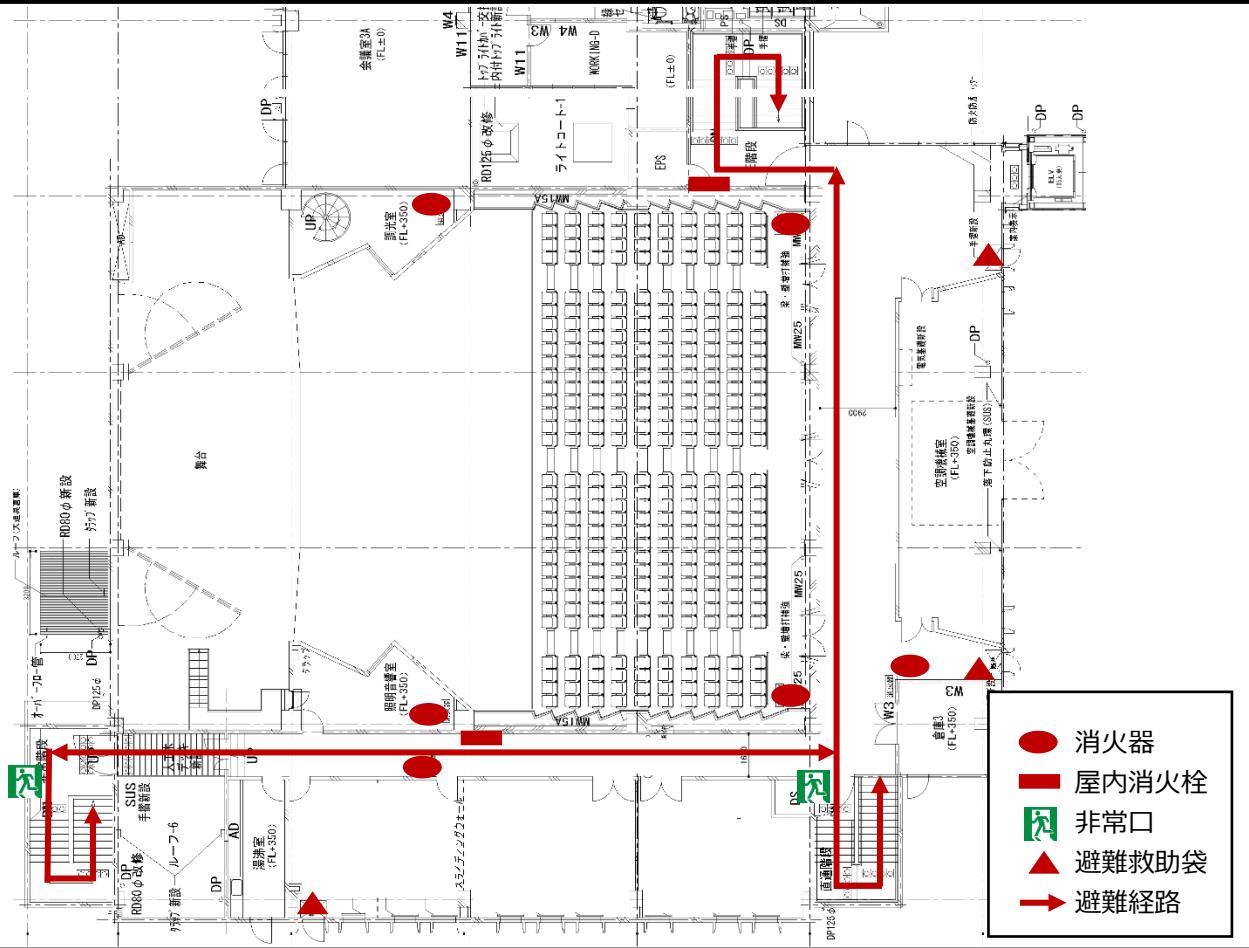
ⅲ わかりやすい言葉を使う。

ⅳ 短文でくり返し行う。

ⅴ 避難誘導を行う際は、現在地からの具体的な方向、経路などを伝える。

## □ 避難経路

3F



2F

